

第2期データヘルス計画の概要

尼崎機械金属健康保険組合

第2期データヘルス計画を策定しました

データヘルス計画は第1期として、平成27年度から平成29年度の3カ年を「いわゆる試行期間」として実施してきました。このたび、第1期の実施結果の評価を行い、平成30年度から平成35年度の6カ年を期間とした第2期計画を策定したところです。その概要について以下によりお知らせしますのでご覧ください。

同計画は、健保組合が保有するデータ（レセプト（診療報酬明細書）情報、健診結果等）を活用し現状分析を行い、健保組合を取巻く状況、当健保組合固有の状況、医療費並びに健診結果の分析に基づき、加入員の健康寿命の延伸に向けた独自の保健事業計画を策定するというものです。効果的な事業に積極的に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

当健保組合の分析結果の概要

I 第1期データヘルス計画の振り返りによる特徴

- 1 被扶養者にかかる特定健診受診率の伸びが鈍化している。
 - ※ 受診機会を拡大（巡回健診を新設）し受診率を伸ばしたが、その後は停滞している。
- 2 特定保健指導の利用者数が平成29年度で大幅に増加見込も全国比較では低率となっている。
 - ※ 事業主への協力依頼や実施対象を拡大（被扶養者も対象に加え実施場所も全国規模とした）し大幅に実施率を伸ばしたが、全国平均には及んでいない。
- 3 電話保健指導（前期高齢者医療対策・生活習慣病予防対策）への参加率が低調。
 - ※ 当健保組合の重要課題である医療費対策として実施しているが、参加率が低調。広報不足が要因のひとつ。
 - ※ 参加者については、「ほとんどの方が、行動や意識変化があった」との結果が得られている。

II 第2期データヘルス計画策定にあたっての分析結果（数値分析）

- 1 医療費の**高額化傾向**が続いていること（資料①）
 - ※ 特に40歳以上からの医療費が全国平均を上回る傾向にある。
 - ※ 被扶養者にかかる医療費の全健保平均との乖離幅が特に大きい。
 - ★ **健保運営、家計（保険料率設定等）に大きな影響をおよぼす。**
- 2 疾病別医療費では「**新生物（癌、腫瘍等）**」、「**循環器系疾患（高血圧、心疾患、脳血管疾患等）**」にかかる割合が突出していること（資料②）
 - ※ 被保険者では「循環器系疾患」、被扶養者では「新生物」が突出している。
 - ★ 「新生物」対策の基本は**早期発見、早期治療。**
 - ★ 「循環器系疾患」の**高額化の要因は生活習慣病関連である。**

3 生活習慣病関連医療費では「高血圧症」等、大半の疾病が全国平均を上回っていること（資料③）

- ※ 被保険者では「虚血性心疾患」、被扶養者では「脳血管障害」の突出が目立つ。
- ★ 上記疾患は、重症化により医療費が高額となったり、後遺症も伴う可能性があるもので加入員の将来の生活設計を脅かす可能性が大となる。
- ★ 生活習慣病は生活習慣の改善で予防や重症化防止が可能であることから、保険者（健保組合）が実施する保健事業の役割が大きい。

4 特定健診受診率と特定保健指導の実施率が低いこと（資料④）

- ※ 被扶養者の特定健診受診率が全国平均を下回っている。
- ※ 特定保健指導の利用率が極端に低い。
- ※ 健診結果による内脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者割合が高い。
- ★ 上記2、3の対策実施には「健診の受診」が基本となる。
- ★ 特定健診受診率と特定保健指導実施率が低いと後期高齢者医療制度への支援金が増額され、保険料率にも影響を与える。
- ★ 平成29年度の特定保健指導の実施率は対策強化により10%を超える見込み（利用者が前年度の11人から約70人と大幅増）。

5 ジェネリック医薬品使用割合は全国平均を上回っていること（資料⑤）

- ※ 使用率は被保険者、被扶養者とも全国平均を上回っている。
- ★ 国全体の目標は「平成32年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%」とされている

Ⅲ I、IIを踏まえた第2期計画の方針と重点事業等

基本方針

- 医療費の抑制と加入員の負担を最小限に抑えることを目標とする。
- 従来実施している病気の早期発見・早期治療を促進するための保健事業を強化する。
- 生活習慣病対策を喫緊の重点課題として重症化を予防するための保健事業を実施する。
- 国の施策の方向性に沿った事業を推進する。
具体的な重点事業は下記のとおりです。

1 特定健診、特定保健指導の受診（実施）率の向上。

- ・ 広報の強化
- ・ 受診等環境の整備

2 各種がん健診の受診率向上

- ・ 広報の強化
- ・ 受診等環境の整備
- ・ 実効性のある補助金規程への見直し

3 健診結果から生活習慣病リスクに着目した重症化予防対策と高齢者の生活習慣改善を目的とした電話保健指導（受診勧奨や生活等改善促進）を実施する。

- ・ 重症化予防電話保健指導（糖尿病・高血圧症・脂質異常症を対象）に実施。
- ・ 前期高齢者対策として64歳になられる被扶養者の方を対象に電話保健指導を実施。

4 ジェネリック医薬品使用促進事業を強化

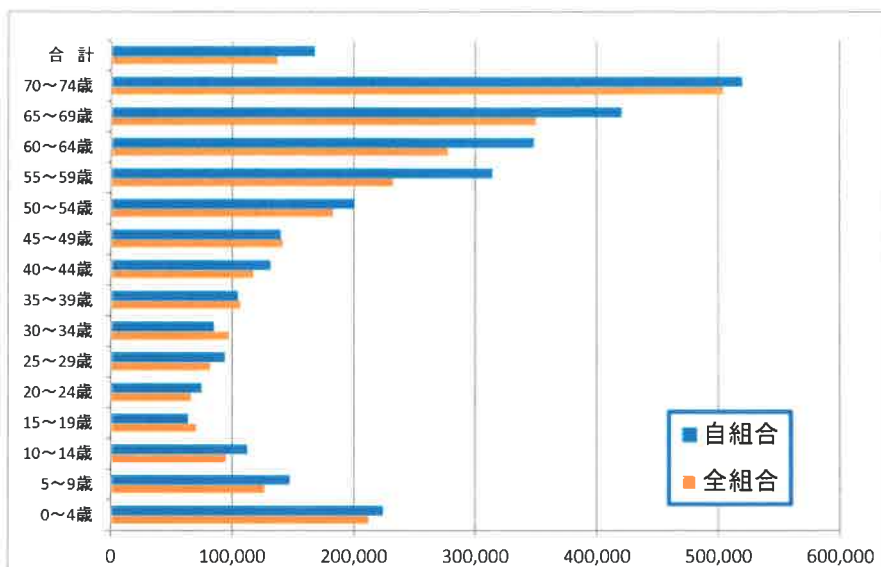
- ・ ジェネリック通知対象を、より削減可能性が高い層に絞り込む必要がある。

5 事業主との連携強化

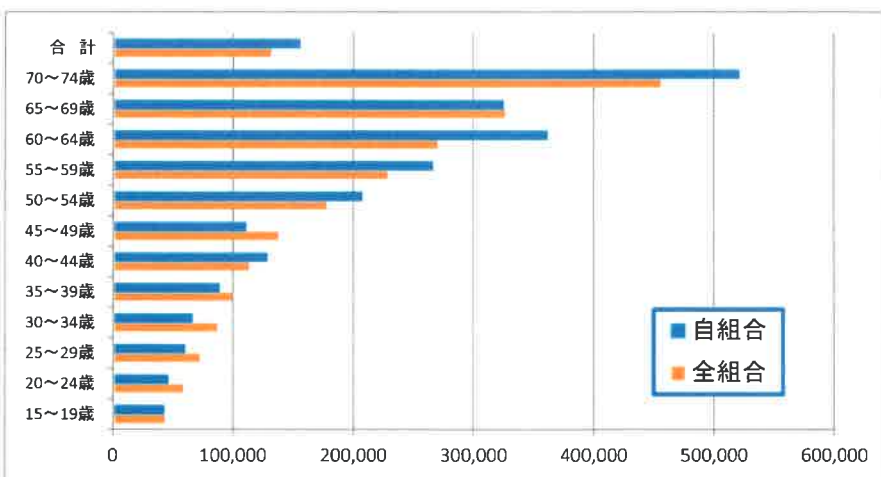
- ・ ひょうご健康企業宣言の促進
- ・ 健康保険委員会の開催
- ・ 他の関係団体との連携強化

年齢別一人当たり医療費(平成28年度)

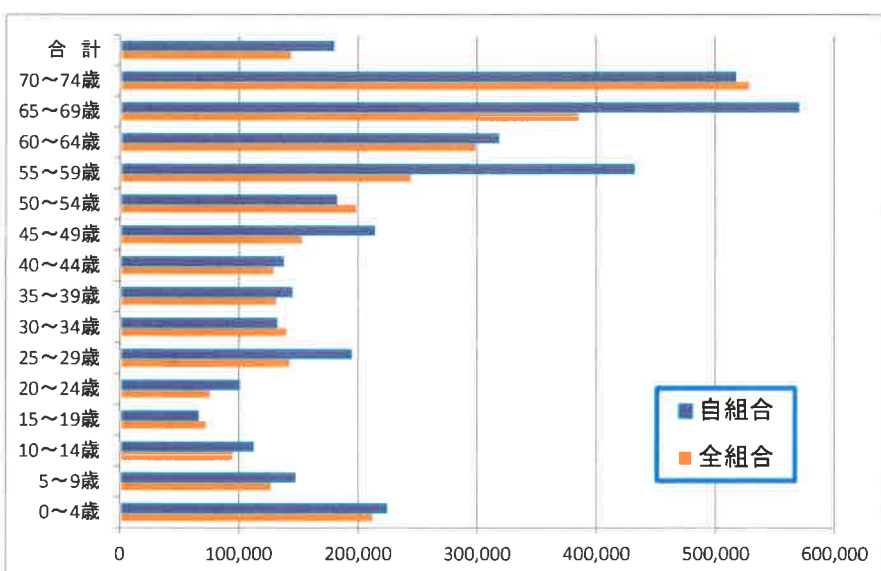
全体	自組合	全組合
	一人当たり医療費	一人当たり医療費
0～4歳	223,680	212,008
5～9歳	146,918	126,659
10～14歳	112,044	94,873
15～19歳	62,927	70,284
20～24歳	73,969	66,066
25～29歳	93,469	81,630
30～34歳	84,349	96,830
35～39歳	104,309	106,768
40～44歳	130,811	117,257
45～49歳	139,344	141,717
50～54歳	199,806	182,914
55～59歳	313,779	232,336
60～64歳	347,575	277,557
65～69歳	419,920	350,148
70～74歳	518,909	504,064
合計	167,097	136,750



被保険者	自組合	全組合
	一人当たり医療費	一人当たり医療費
15～19歳	42,549	43,321
20～24歳	45,815	58,284
25～29歳	59,484	72,099
30～34歳	65,871	86,647
35～39歳	88,142	99,030
40～44歳	128,238	113,109
45～49歳	110,438	137,689
50～54歳	206,917	177,476
55～59歳	265,891	228,208
60～64歳	361,684	270,202
65～69歳	324,752	326,380
70～74歳	520,782	455,650
合計	155,518	131,355



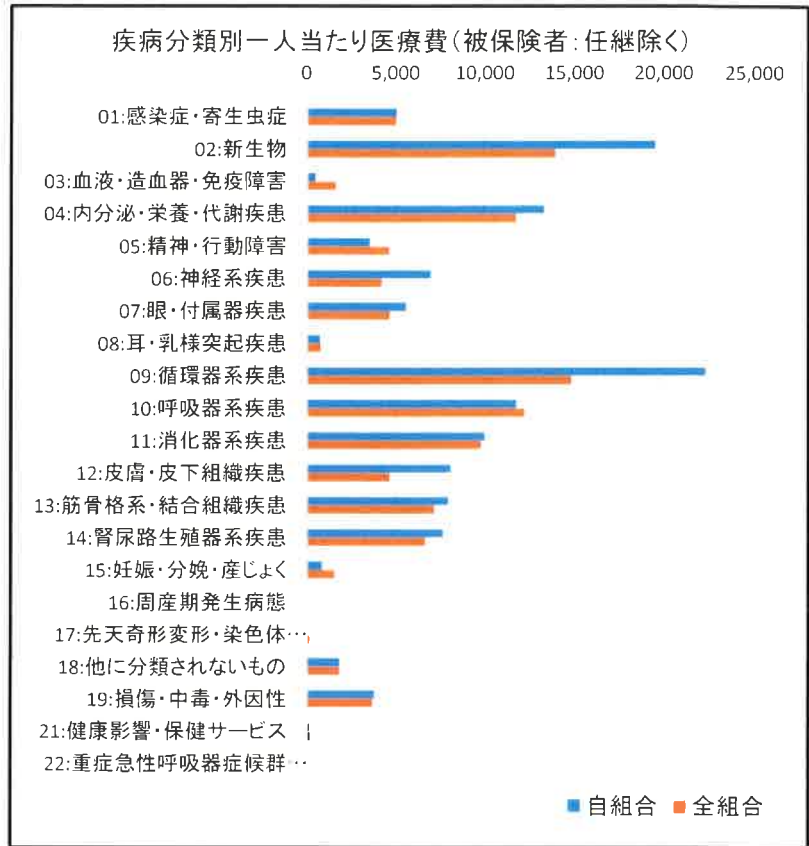
被扶養者	自組合	全組合
	一人当たり医療費	一人当たり医療費
0～4歳	223,680	212,008
5～9歳	146,918	126,659
10～14歳	112,044	94,873
15～19歳	65,249	71,992
20～24歳	100,227	75,709
25～29歳	194,124	142,422
30～34歳	131,504	140,055
35～39歳	144,330	131,258
40～44歳	137,113	128,866
45～49歳	213,415	152,774
50～54歳	181,488	197,936
55～59歳	431,402	243,802
60～64歳	317,842	298,556
65～69歳	569,850	385,267
70～74歳	516,608	528,321
合計	179,041	143,485



疾病大分類別一人当たり医療費(平成28年度)

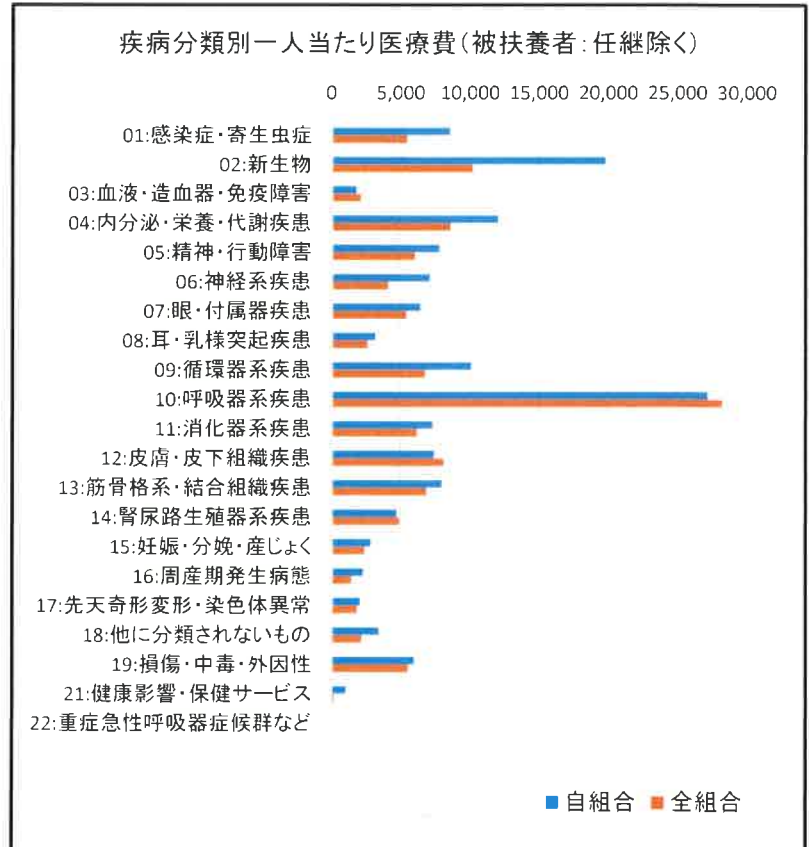
1 被保険者

疾病19分類	自組合	全組合
01:感染症・寄生虫症	5,044	5,035
02:新生物	19,527	13,956
03:血液・造血器・免疫障害	512	1,654
04:内分泌・栄養・代謝疾患	13,298	11,733
05:精神・行動障害	3,559	4,657
06:神経系疾患	6,978	4,219
07:眼・付属器疾患	5,587	4,671
08:耳・乳様突起疾患	797	832
09:循環器系疾患	22,303	14,841
10:呼吸器系疾患	11,768	12,207
11:消化器系疾患	10,000	9,789
12:皮膚・皮下組織疾患	8,093	4,672
13:筋骨格系・結合組織疾患	7,973	7,162
14:腎尿路生殖器系疾患	7,663	6,646
15:妊娠・分娩・産じょく	892	1,590
16:周産期発生病態	57	63
17:先天奇形変形・染色体異常	46	221
18:他に分類されないもの	1,874	1,847
19:損傷・中毒・外因性	3,815	3,696
21:健康影響・保健サービス	193	236
22:重症急性呼吸器症候群など	0	1



2 被扶養者

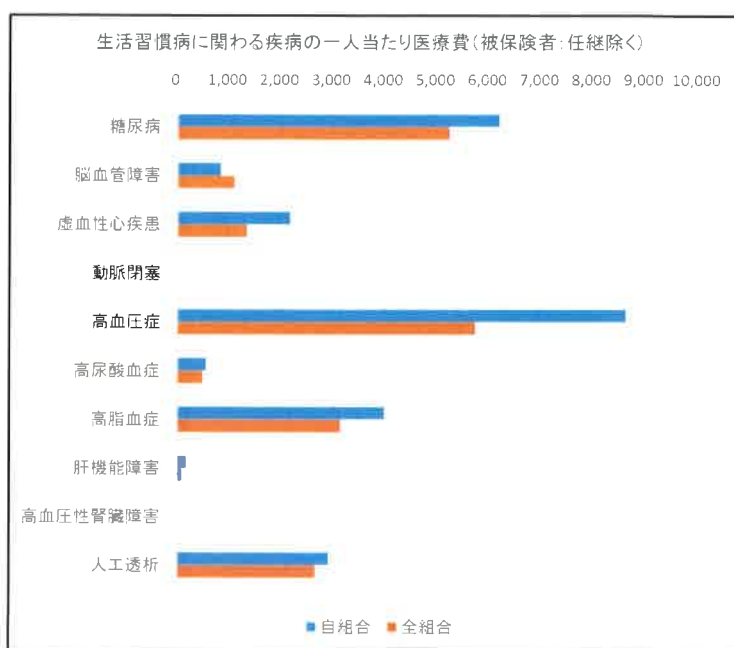
疾病19分類	自組合	全組合
01:感染症・寄生虫症	8,593	5,490
02:新生物	19,832	10,239
03:血液・造血器・免疫障害	1,802	2,128
04:内分泌・栄養・代謝疾患	12,049	8,614
05:精神・行動障害	7,813	6,051
06:神経系疾患	7,121	4,119
07:眼・付属器疾患	6,438	5,433
08:耳・乳様突起疾患	3,189	2,639
09:循環器系疾患	10,135	6,764
10:呼吸器系疾患	27,192	28,230
11:消化器系疾患	7,329	6,187
12:皮膚・皮下組織疾患	7,414	8,134
13:筋骨格系・結合組織疾患	7,962	6,876
14:腎尿路生殖器系疾患	4,732	4,913
15:妊娠・分娩・産じょく	2,858	2,418
16:周産期発生病態	2,310	1,475
17:先天奇形変形・染色体異常	2,097	1,874
18:他に分類されないもの	3,448	2,216
19:損傷・中毒・外因性	6,014	5,559
21:健康影響・保健サービス	1,073	204
22:重症急性呼吸器症候群など	0	2



生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費(平成28年度)

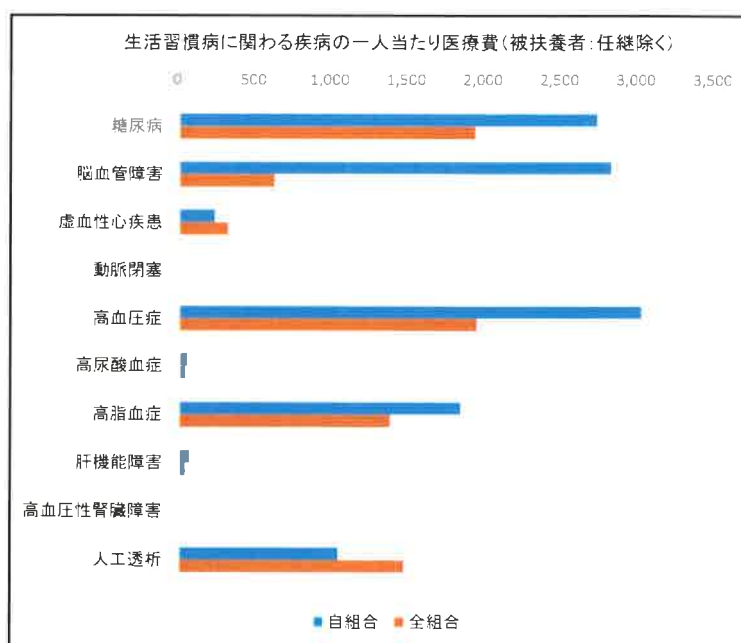
1 被保険者

	自組合	全組合
糖尿病	6,211	5,251
脳血管障害	841	1,107
虚血性心疾患	2,186	1,351
動脈閉塞	0	2
高血圧症	8,645	5,737
高尿酸血症	566	500
高脂血症	3,995	3,146
肝機能障害	196	109
高血圧性腎臓障害	1	3
人工透析	2,922	2,666



2 被扶養者

	自組合	全組合
糖尿病	2,739	1,936
脳血管障害	2,829	626
虚血性心疾患	236	320
動脈閉塞	0	0
高血圧症	3,026	1,949
高尿酸血症	55	43
高脂血症	1,843	1,386
肝機能障害	69	41
高血圧性腎臓障害	0	2
人工透析	1,046	1,473



特定健診受診率等(平成28年度)

【全体】	尼崎機械金属健康保険組合			全組合集計
	28年度	前年度	増減	
対象者数	4,037	4,046	9	8832578
受診者数	2,714	2,455	-259	6793409
健診受診率(%)	67.20%	60.70%	-6.50%	76.90%
内臓脂肪症候群該当者数	446	404	-42	873960
内臓脂肪症候群該当者割合(%)	16.20%	15.90%	-0.30%	12.70%

【本人】	尼崎機械金属健康保険組合			全組合集計
	28年度	前年度	増減	
特定健康診査対象者数	2,840	2,834	-6	6432748
特定健康診査受診者数	2,304	2,051	-253	5759395
健診受診率(%)	81.10%	72.40%	-8.70%	89.50%
内臓脂肪症候群該当者数	421	379	-42	838036
内臓脂肪症候群該当者割合(%)	17.90%	17.80%	-0.10%	14.40%

【家族】	尼崎機械金属健康保険組合			全組合集計
	28年度	前年度	増減	
特定健康診査対象者数	1,197	1,212	15	2399830
特定健康診査受診者数	410	404	-6	1034014
健診受診率(%)	34.30%	33.30%	-1.00%	43.10%
内臓脂肪症候群該当者数	25	25	0	35924
内臓脂肪症候群該当者割合(%)	6.10%	6.10%	0.00%	3.40%

特定保健指導利用率(平成28年度)

	尼崎機械金属健康保険組合			全組合集計	
	28年度	前年度	増減	28年度	増減
対象者数	521	448	-73	1,133,522	-44,443
うち今年度は特定保健指導対象でなくなった者の数	81	74	-7	252,443	-729
特定保健指導対象者の減少率(%)	15.50%	16.50%	1.00%	22.30%	0.80%
特定保健指導の利用者数	11	20	9	211,499	-9,882
うち今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	2	4	2	59,852	-103
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(%)	18.20%	20.00%	1.80%	28.30%	1.30%
利用率(%)	2.11	4.46		18.66	

ジェネリック医薬品使用割合(平成28年度)

	尼崎機械金属健康保険組合			全組合集計		
	合計	本人	家族	合計	本人	家族
	使用割合	使用割合	使用割合	使用割合	使用割合	使用割合
0～4歳	67.00%	-	67.00%	61.48%	0.00%	61.48%
5～9歳	61.01%	-	61.01%	57.46%	0.00%	57.46%
10～14歳	62.48%	-	62.48%	61.24%	0.00%	61.24%
15～19歳	70.88%	69.88%	71.02%	66.49%	71.35%	66.31%
20～24歳	63.00%	76.63%	56.46%	69.04%	72.41%	65.83%
25～29歳	75.18%	79.07%	68.76%	70.99%	72.23%	66.49%
30～34歳	76.22%	77.77%	74.53%	70.98%	71.18%	70.41%
35～39歳	71.82%	68.60%	77.50%	70.12%	69.98%	70.49%
40～44歳	67.97%	71.67%	60.55%	69.23%	69.32%	69.01%
45～49歳	76.11%	79.22%	70.08%	69.23%	69.69%	68.08%
50～54歳	72.55%	73.99%	68.70%	69.89%	70.66%	67.94%
55～59歳	73.93%	75.25%	71.20%	70.70%	71.76%	67.92%
60～64歳	75.42%	74.72%	76.90%	71.50%	72.78%	68.13%
65～69歳	72.15%	75.54%	68.36%	69.56%	70.70%	68.12%
70～74歳	66.64%	62.59%	71.15%	66.36%	64.13%	67.25%
75歳以上	84.62%	88.35%	78.87%	64.51%	60.26%	65.58%
合計	71.19%	74.02%	68.11%	68.26%	70.81%	65.04%